



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1150

30.03.2025 (136)

悪の天才の教育

ゲルハルト・ラウク著

パート16

アトランティック作戦 1992-1995

ドイツ政府は私たちの組織に対抗するため、名指しで特別任務部隊を編成した。それは「アトランティック作戦」と呼ばれた。信頼できる情報筋によれば、FBIとCIAの両方と毎週連絡を取り合っていたという。

消防訓練

私は、テロリズムという口実が双方の要員に致命的な影響を及ぼしかねないことを強く懸念していた。事態を打開するために「消防訓練作戦」が計画され、実行された。私は囚人としてデンマークに渡った。敵はこの囚人になり、私たちの基地や他の同僚たちから注意をそらした。

この作戦は成功した。死傷者は予想以上ではなかった。許容範囲内だった。もちろん、直接被害を受けた人々にはそれなりの不快感があった。私は4年間で刑務所で過ごすことになった。しかし、私の最大の後悔は、非常に親しい友人であり労働者であった2人を間接的に、遅ればせながら失ったことだ。二人とも現場を離れる前に、自分の正当な分担をはるかに

超えることをしてくれた。これが重要なのだ。細かいことではない。

私は毎日多くの時間を電話で過ごしていたので、私の “おしゃべり ” がなくなると警鐘を鳴らすことができた。

そこで私は悪巧みを考えた。

盗聴された電話を使って、私は別の州にいる同僚に電話をかけた。私は彼の街を訪れる予定だと言い、彼の家に泊めてもらえないかと頼んだ。彼はいいよと言った。

私はスタッフに旅行の計画を伝え、出発した。

途中、私はホストになる予定の人に連絡を取り、プランの変更を伝えた。ただし、もし電話がかかってきたら、私が街にいてと言っ、夜は出かけたと言うこと。彼は同意した。

その後、ヨーロッパ行きの乗り継ぎ便に乗った。

空港で逮捕されなくてほっとした！私は別の国に進み、地上へ出た。

ヨーロッパの人たちと連絡を取らなければならないとき、私はまだアメリカににいるという印象を与えてしまった。私は彼らに言った： クーリエを送ります。彼はまだトレーニング中の新人だ。私が待ち合わせを調整する。新人が直接あなたに連絡することはありません。

監視下にあると思われる彼らのビルに、顔見知りが見れるのは避けたかった。しかし、この隠密行動にはもっともらしい口実が必要だった。問題の人々は、デンマークという「安全」なはずの国にいた。彼らはこれに慣れていなかった。

この連携は最後の5分までは完璧だった。すると、背後から欧州警察のサイレンが聞こえてきた。ヨーロッパの連絡担当者は何が起きたのか察した。 - その “運び屋 ” は実は私だったのだ！

幸いなことに、私たちは十分に近くにいたので、それ以上何事もなく会うことができた。私は車に乗り込み、走り出した。

私は今、異常な状況を説明した。当然、最初は信じてもらえなかった。説得するのは大変だった。

私は次のような例を使った：

私たちは原子力発電所で働いています。壁には10個の警告灯がある。もし10個のランプがすべて赤になったら、原子炉は爆発し、何百万人もの

人々が死んでしまう。

私たちはそこで10年間働いてきた。一度だけ、たった一度だけ、その信号のひとつが赤になったことがあった。私たちは皆、本当に怖かった。問題を解決するために必死に働いた。そしてパンツを履き替え、外に出て悪酔いした！

今朝、工場に入って壁を見た。赤い光が3つ見えた！

これが今、私たちが置かれている状況の深刻さだ！

48時間後、彼らは啞然とした 私が絶対に正しかったとわかったからだ！

以下は、私がデンマークで逮捕され、ドイツに引き渡されるまでの年表である。（これは本書の巻末にある、より広範な年表からの抜粋である）

1993

1月5日ドイツ初の「法律扶助要請」（LAR）を米国政府に提出。アメリカでの家宅捜索、リストの押収、NSDAP/AO指導者のドイツへの引き渡しを要請。罪状は宣伝活動。

5月19日ケルンで米独政府高官が会談。米政府高官がLARの修正を提案。

5月28日ドイツ刑事警察（BKA）は、NSDAP/AOの資料と暴力との関連を示す証拠はないと報告している。

6月21日2度目のLAR。追加告発：殺人、過失致死、放火、身体傷害の扇動。（5月19日の米国の「提案」に注意！）。

7月3日、裏切り者のハッセルバッハ尋問。

7月20日ドイツ政治警察（「VS」）が、NSDAP/AOが爆弾製造方法を記したコンピューター・ディスクを配布したと虚偽の主張。

9月1日ドイツ外務省、在ワシントンDC大使館でラウク事件の重要性を強調。

9月26日 サンデー・ワールド・ヘラルド紙（オマハ）が報じている：「この1年、ヘルムート・コール首相は、資料の印刷や輸出を止めることがいかに重要であるかをアメリカ人に説得するために何度も試みた。

11月15日独米会談。米政府高官が「テロ」捜査の可能性を提示。

11月24日ドイツ政府関係者は上記のテロリズムの選択肢を受け入れる。

12月2-19日さらに3件のハッセルバッハ尋問。

12月22日第3のLAR今度はテロを根拠に

12月ドイツ政府、NSDAP/AOを「国際テロリズム」として文書で公式に非難。

1993年後半FBIのフリー長官がドイツを訪問。ドイツ当局からNSDAP/AOに対する協力を要請される。

1994

3月1日検事がBND（ドイツのCIA）総裁に盗聴の協力を要請、BKAには機材がないため。

3月17日ボンのアメリカ大使館、ドイツ人にラウクに関する情報を提供。

3月23日ドイツ連邦情報局は援助を拒否。ヘルムート・コール首相府にコピー。

5月31日内務、司法、郵政の3大臣が、アメリカにおけるNSDAP/AOの電話回線の盗聴について協議。これまで行われたことはない。試験的プロジェクト。

8月から12月NSDAP/AOの4回線（後に5回線）を盗聴。しかし、同時に盗聴できるのは2回線のみであるため、交互に盗聴。成績不振のため数ヶ月で中止。

欧州内相会議で、ドイツは近隣諸国にNSDAP/AOのドイツへの流入を阻止するための協力を要請。

9月7日ドイツ政府はラウックがデンマーク行きを計画していることを知り、逮捕状を発行。

11月28日リンカーン市議会、NSDAP/AOを「称える」決議。

ドイツのメディアによると、ドイツ政府は毎月、アメリカ政府にNSDAP/AOに対する支援を要請しているとのことだ。

1995

テロリストとの接触が疑われたラウクに対するFBIの捜査が、NSDAP/AOの「消防訓練作戦」の引き金となる。

3月6日ラウクに対するドイツの逮捕状が更新

3月7日ラウクはCBSの記者に対し、翌週かそこらで逮捕される見込みだが、可能であれば3月5日に電話をかけ直し、インタビューの再調整をする約束した。

3月12日ラウクがデンマークに到着。

3月15日ラウクはデンマークでのCBSのインタビューを翌日、つまりネブラスカ州議会がNSDAP/AOを糾弾する宣言と同じ日に意図的に予定している。DNSB（NSDAP/AOのデンマークの盟友）も他のメディアに多くのファックスを送る。

3月16日CBSがデンマークのDNSB本部でラウクにインタビュー。ラウクは襲撃と逮捕が迫っているが、NSDAP/AOは準備万端であり、生き残り、戦い続けるだろうと語っている。

3月15日ドイツが国際逮捕状を発行。

月17-20日ハンブルクなどの民族主義者向け電話インフォメーションは、NSDAP/AOの物資受領者に対する手入れが間近に迫っていると警告。（このことが後に、連邦議会の「緑の分派」による、警察へのNSの浸透に関する調査の引き金となる）。

3月20日ドイツからの国際逮捕状によりデンマークで逮捕。（その後4年間、デンマークとドイツの6つの異なる刑務所で過ごす。[この4年間にについては本書の別の箇所述べている）。

3月23日800人の警察が60以上のビルに踏み込み、報道では大勝利と主張。実際には、押収された資料はほとんどなかった。その後、NSDAP/AOの資料を所持していたとして、10人足らずの著名人が罰金刑に処せられる（投獄はされない）。

月28日ドイツがデンマークにラックの身柄引き渡しを要求。

月28日検察報告書によると、NSDAP/AOテロ組織は少なくとも5カ国で活動：ドイツ、オーストリア、デンマーク、オランダ、スペイン。（注：引き渡し要請と同日）

5月4日デンマーク法務大臣がラックの身柄引き渡しを命じる。ラックはこれに異議を唱える。

6月6日デンマークの地元裁判所、身柄引き渡しを阻止しようとしたラックの試みを却下。ラックは上訴。[これは非公開の法廷でした。私たちの弁護士は、このセッションを公開するよう裁判官に求めた。法廷にいた誰もが、まさに同時刻に何が起きていたかを知らなかった：暴徒が建物に押し入ろうとしていたのだ！警察と私たちのシンパの最後の努力だけが、暴徒

を正面玄関で食い止めた。]

6月8日BKAの内部報告書によれば、VSとFBIはNSDAP/AOを過小評価していた。

6月23日デンマークの地方裁判所がラックの上訴を却下。ラックがデンマーク最高裁に上告。

8月24日デンマーク最高裁がラックのドイツへの身柄引き渡しを承認。

8月24日ラックが政治亡命を申請。却下される。

9月1日ラックが人道的理由で亡命を申請。却下される。

9月5日。ラックは半ダースのデンマーク警察官を伴って自家用ジェット機でハンブルクに飛び、装甲リムジンでIA刑務所に連行された。翌日、VI刑務所に移送された。



NSDAP/EOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物

多くの言語の何百冊もの本

多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com

